

事後評価シート

調査研究課題名	都市に活力を生み出す人材が求める都市環境に関する研究 ～ナレッジワーカー・クリエイターの具体的ニーズ調査より～
担当者	主任研究官 頼あゆみ、前主任研究官 瀬川祥子、 前研究官 村上陽子、研究官 山形創一、研究官 丸茂悠
当初目標と目標達成度	本研究は、これからの都市の活力を生み出す活動主体として「産業（企業）」と「人材（個人）」に着目し、これらの「都市環境」に対する具体的なニーズを汲み取り、そこから今後の都市整備のあり方を整理することを当初目標とした。企業アンケート、人材インタビュー、有識者ヒアリング等を通じて、都市の活力を生み出すような産業（企業）と人材（個人）のニーズを整理し、検討することにより、東京を始めとする日本の都市の魅力と課題を把握し、今後の都市整備の方向性や具体的な施策立案のためのヒントを挙げることができ、当初目標は達成したと考える。
調査研究内容の妥当性	<p>本研究は、21世紀の活力の源泉として期待されている都市について、その活力を生み出す活動主体として「産業（企業）」と「人材（個人）」に着目し、経済のグローバル化、人材のボーダレス化、ITの急速な発展という状況下で、これらを惹きつけるためには、日本の大都市の都心においてどのような都市環境を整備すべきかを明らかにしようとするものである。</p> <p>このため、東京23区内の活力を持っているエリアに立地する企業へのアンケートを実施し、これらの求める都市環境について把握するとともに、知的、創造的な仕事に携わる人材へのインタビューを実施し、これらの求める都市環境について把握した。また、同様の調査を、ライバルとなり得る東アジア3都市（ソウル、上海、台北）でも実施し、日本の都市の魅力と課題を分析する際の参考とした。同時に、活力を生み出すような「産業（企業）」と「人材（個人）」の特徴等について、有識者ヒアリング等を行った。</p> <p>これら結果を整理、分析することにより、これからの都市の活力を生み出すような「産業」や「人材」とはどのようなものか、どのようなライフスタイル・ワークスタイルを持ち、どのようなニーズを有するか、これに対する東京を始めとする日本の都市の魅力と課題を把握し、今後の都市整備の方向性を示すことができた。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>大阪市立大学創造都市研究科 小長谷一之教授に、当初から取りまとめに至るまで、研究の要所要所でアドバイスをいただくことにより、調査結果の分析や考察に当たって、都心への産業導入、都市マーケティング等の観点を入れることが可能となった。</p> <p>海外調査については、調査の企画の段階から実施まで、現地の学識経験者（韓国：全北大学校工科大学建築・都市工学部 蔡秉善教授、中国：同濟大学都市計画系 潘海嘯教授、台湾：国立交通大学交通運輸研究所 徐淵静教授）の指導、協力をいただき、結果の分析に当たっても意見交換を行ったことにより、調査の実効性を高めるとともに、各国、各都市の特性を考慮に入れた検討が可能となった。</p>
成果と活用（予定）	報告書を取りまとめ、国土交通政策研究所のホームページにおいて公開することにより、国際的競争力の高い都市づくりを行おうとする官民の担当者が、いわゆる都市のマーケティング戦略や具体的な施策を立案する際の参考となることを期待する。
その他	
内部評価委員会意見	<p>タイトルから「産業」を外し、「人材（ナレッジワーカー・クリエイター）」を前面に出した方が、研究内容が一目でわかる。</p>